

北斗通信

(令和5年9月号)

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 埼玉県 令和5年3月 高等学校卒業生の進路状況 | 1 |
| 資料① 埼玉県 令和5年3月高等学校卒業生の進路 | 6 |
| 2. 埼玉県 令和5年度 学校基本調査から | 2 |
| 資料② 埼玉県公立小学校6年生の転出率 | 8 |
| 3. 埼玉県 公立高校 令和7年度入試日程発表 | 3 |
| 4. 東京都 公私連絡協議会開催 | 4 |
| 資料③ 東京都 令和6年度の就学計画 | 11 |
| 5. その他の話題 | 4 |
| ・ 埼玉県 伊奈学園中学の募集要項発表 | 4 |
| ・ 東京都 都立入試男女別定員枠撤廃に | 5 |

会員限定情報「北斗通信」
 令和5年9月12日
 岩佐教育研究所
 TEL048-688-4698
 FAX048-675-0219
 E-mail shohokuto@gol.com
 無断転載を禁じます。

1. 埼玉県 令和5年3月高等学校卒業生の進路状況

資料① 埼玉県 令和5年3月高等学校卒業生の進路状況(速報)

埼玉県教育局は、8月28日、今春の県内公私立・国立の高等学校卒業生の進路状況(速報)を発表した。卒業生総数は、52,446人で、前年より1,607人減少した。

大学・短大等への現役進学率は、前年度より1.2%増加し64.6%となった、大学への進学率も59.4%から61.3%へ1.9%上昇した。これで5年連続の上昇となった。

高等学校(全日制)卒業生の大学等進学状況

| 区 分 | 令和5年3月 | |
|-------------|---------|--------|
| | 人数 | 構成比 |
| 大学等進学者数 | 35,509人 | 100.0% |
| 現役(現年度卒) | 33,885人 | 95.4% |
| 大学(学部) | 32,155人 | 90.6% |
| 短期大学(本科) | 1,608人 | 4.5% |
| その他(通信・別科等) | 122人 | 0.3% |
| 一 浪 | 1,445人 | 4.1% |
| 大学(学部) | 1,441人 | 4.1% |
| 短期大学(本科) | 4人 | 0.0% |
| 二浪以上 | 179人 | 0.5% |
| 大学(学部) | 178人 | 0.5% |
| 短期大学(本科) | 1人 | 0.0% |

全日制課程卒業生は、51,516人で前年より1,541人減少し、現役での大学等進学率は、前年の64.2%から、65.5%となっていた。

専修学校・専門課程が8,674人、就職が5,295人となっていた。

専修学校・一般課程等が1,512人で174人減少となっていたが、ここに予備校に通う進学準備者が入っている。

公立高校の全日制での進学率は、前年より1.6%上昇し56.9%となり、私立高校が前年の82.1%から83.0%に上昇した。

また、過年度卒業を含めた大学等への進学状況では、浪人(1浪1,445人、2浪以上179人)を加えた進学者の在籍に対する割合(在籍比率)では、67.7%となっていた。(全日制合計68.6%、公立全日制59.8%、私立86.6%)

現役生の大学と短大の比率は95.2%:4.8%と、短大への比率が低下が目立つ。

定時制を加えた県計での就職者は、5,507人、就職率は10.5%で前年より0.4%下降しており、新型コロナの感染拡大と景気の低迷が影響し

ていると考えられ、この影響が、進学率を上げている要因とも考えられる。

県合計(全日制)の男女別・現役の大学・短大への進学状況では、男子が卒業生の65.2%、女子63.5%で過年度卒を加えた在籍比率では、男子69.8%(前年70.4%)、女子が64.9%(前年65.2%)となっており、現役進学率の割合が上昇していたことが分かる。

全国の大学等への現役進学率は、12月ごろ発表予定だが、3年度(4年3月卒)では全国平均59.5%(2年度57.4%、元年度55.8%、31年度54.7%、30年度54.7%、29年度54.7%、28年54.9%、27年54.6%、26年53.9%、25年53.2%)で、埼玉県は8位で、全国平均より3.9%上回っていた。(1位は東京都の71.5%)

首都圏の大学の定員の厳格化が緩和しました。これは、本来、定員の規模を8000人以上、4000以上~8000未満、4000人未満の3段階に分け、8000人以上だと、2016年度1.17倍、2017年度1.14倍、2019年度から3年間1.10倍を義務付け、超えた場合には、助成金の全額不交付も含め、相応のペナルティを課すというものでしたが、5年度から単学年ではなく4年間の学則総定員をベースにすると改められています。各大学では、退学者や転学者を含めての実募集の設定ということになります。

しかし、一方では、安定した定員確保のために、学校推薦型選抜での人数確保が大幅に上昇したという情報があります。また、受験生の安全志向が膨らみ、大学共通テストの受験生が減少しているようです。コロナ禍もあり、就職難が影響して、現役進学率が大幅に上がっているとも考えられます。

2. 埼玉県 令和5年度学校基本調査から 資料② 埼玉県公立小学校卒業生の転出率

埼玉県教育局総務課は、9月7日に「学校基本調査の概要」並びに、県内小・中学校の5月1日現在の在籍状況を公表した。

(分析1 埼玉県公立中学3年生在籍の変化)

本年度の公立中学3年生の在籍は、令和4年度の59,388人より637人減少し58,751人となっている。また、今後の生徒在籍の減少は令和6年度▲339人、7年度▲697人となっており、再度の減少期にはいっている。

なお、県内私立中学校の卒業予定者は4年度の3,149人から5年度は3,280人とやや増加していた。

年間の流入生は、2年生人、3年生人(前年は2年生119人、3年生55人)となっており、やや、埼玉の社会増は落ち着いてきたようだ。

埼玉県の中学生3年生は国・公・私立の合計で6万2050人と発表されています。埼大附属(140人)、私立3,159人、公立5万8960人の合計となっています。国・公・私の子どもの在籍総計では、前年から390人の減少となります。しかし、令和6年度入試は、公立で800人の募集減となりますので、倍率は、前年よりやや高まるものと見られます。

令和5年度生は4年度から640人減となり、今後数年、県内の在籍は同規模で減少します。

(分析2 埼玉県小学6年からの転出状況)

埼玉県では、例年公立小学校6年生から公立中学1年生になる際、一定の在籍の減少が発生している。

純粹な転出もあるが、埼玉では、それとほぼ同数の社会増があるため、この在籍の減少は、国・私立中学への

転出生と見做せる。

埼玉県としては、小学校から国・私立中への進学は、発表していない。

令和5年春では、伊奈学園中学校を含め3,848人の在籍減少が見られた。

3年度3,901人、2年度3,815人、元年度3,761人、31年度3,859人、30年度3,520人、29年度3,580人、28年度3,634人、27年度3,334人、26年度3,869人、25年度4,020人、24年度4,197人、23年度4,337人と平成13年から7年連続で増加した後、8

年連続で減少、その後増減を繰り返している。但し、大宮国際中等教育学校や川口市立附属の中学校の開設があり、これらは市立のため転出には含まれない。

在籍の減少の影響も大きいですが、2021年春の大学入試改革など、中学入試戦線の活況が囁かれてはいるが、埼玉の現状は厳しい。24年度では、震災による影響、25年度以降では、急速な少子化も減少要因として考えられる。

令和5年状況(公立一貫240人を含む)

①さいたま市1,086 ②川口499 ③所沢221
④越谷202 ⑤川越138 ⑦戸田124 ⑧草加121
⑧新座120 ⑩上尾92 ⑪三郷88
⑫朝霞80 ⑬熊谷80 ⑭和光79

令和4年状況(公立一貫240人を含む)

②さいたま市1,094 ②川口443 ③所沢243
④越谷186 ⑤戸田138 ⑦草加121 ⑧川越112
⑧朝霞98 ⑩新座99 ⑪上尾95
⑫三郷89 ⑬和光82 ⑭熊谷67

などとなっている。

全県の平均は6.3%と、前年と同じだった。(4年度6.3%、3年度6.1%、2年度5.7%、31年度6.0%、30年度5.8%、29年度6.2%、28年度5.7%、27年5.2%、26年度5.9%、25年度6.1%、24年度6.3%、23年6.5%)

また、市町村別の在籍比率で集計すると

①和光11.0% ②志木10.1% ③川口9.9%
④日高9.7% ⑤さいたま市9.3% ⑥戸田8.8%
⑦蕨10.4% ⑧所沢8.1% ⑨新座8.1%
⑩三郷7.4% ⑪越谷6.7% ⑫富士見6.5%
⑬八潮6.5% ⑭朝霞6.5%

在籍比率では、全市で義務教育学校計画が進行している日高市が突然の上位進出で驚かされる。

義務教育学校が必ずしも保護者からの信頼を受けていないということかもしれない。

入学者は公立に含まれるため、減少は、不合格者が県内外私立に流れたと予想される。東京隣接地区で、やや減少しているのは、少子化の影響か？

埼玉県内で、転出者(私立中学への入学者)は、増加していません。

令和5年度入試での県内私立中学校入学生は、前年度より111人増の3,352人となっています。一方で、前年の入学生3,241人が2年生になって3,216人と25人なくなっていました。

私立中学校に入学することを目標としていた子供たちの、現実とのギャップということなのかもしれません。また、転出者のうち約2,000人が東京及び隣接県への進学者と考えられます。

3. 埼玉県 令和7年度 公立高校入試日程発表

埼玉県教育局は、9月8日、令和7年度入試の日程を発表した。

尚、出願期間及び志願先変更期間については、令和6年度入試で15校に拡大されたweb出願

の全県採用につき検討中のため来春での発表となる見込みとなっている。

東京都、神奈川で5年度入試から、千葉で6

年度入試から採用されたweb出願が7年度では、埼玉に拡大されるものと見られる。

| | | |
|----------|------------------------|--|
| 令和7年 | | |
| 2月26日(水) | 学力検査 | |
| 2月27日(木) | 実技検査(芸術系学科等)、面接(一部の学校) | |
| 3月3日(月) | 追検査 | |
| 3月6日(木) | 入学許可者発表 | |

4. 東京都 公私連絡協議会の合意事項から 資料③ 東京都 令和6年度就学計画

東京都教育庁と東京都私立中学高等学校協会は、9月11日、都立高校と私立高校の生徒収容に関する令和6年度入試へ向けての高等学校就学計画について合意した。

第五次計画とは、令和2年度から令和6年度までの期間の都内生の公私分担の比率を確定するもので、

- (1) 就学計画を立てる上での進学率は94.0%を基本とする。なお、実績進学率の向上に向けて、必要に応じ協議する。
- (2) 公私分担は、現行分担率都立59.6:私立40.4を基点分担割合としつつ、令和2年度から令和年度6年度までの各年度就学計

画では、一層の公私協調により、実績進学率の向上を図るよう、公私分担も必要に応じ協議する。

とされているもの。

尚、公私の分担率は、令和4年度からの計画の中で取り決めた94%を、6年度入試から、生徒の進路選択の多様化に対応し93%に変更していた。

6年度では、在籍の増加(5年度より約338人増加した78,025人)があったが、私立分担数は、28,000人から27,800人へ200人減少した。尚、都立受け入れ分も41,300人から41,000人と300人減少している。

| | 都立高校 | 私立高校 |
|-----------|---------|---------|
| 令和6年度就学計画 | 41,000人 | 27,800人 |

5. その他の話題

埼玉県 伊奈学園中学校 令和6年度入試要項発表

伊奈学園中学校は、8月末にホームページで令和6年度入試実施要項を発表した。

令和6年度入試で第22回目の入試選抜となる。伊奈学園では、24年度入試までは、抽選によって160人に絞る方式を採用していたが、中高一貫検証会議の報告で「受験機会を与えないのは不公平」という提言を受けて、25年度入試から、抽選方式を止め、全員に課題作文を受検させ、その結果

と調査書で第一次選考を実施、第二次選考は面接で行うように変更されている。24年度では、950人5.9倍と抽選の高倍率が続いていた。

全員に作文による適性検査を実施した25年度入試では、受験生は704人に減少、一次合格者は、227人だった。新方式12年目の令和5年度入試では、出願数365人、受験生361人、一次合格者199人に減少した。

テスト方式から、理系・文系の課題作文方式に変わったわけだが、これによって、自信のない層が回避したこと、抽選の場合、当選した生徒のみ

調査書が必要になるが、受験の場合、当初に調査書が必要になるなどの減少要因が考えられる。

伊奈学園中学校の令和6年度入試の概要・日程

| | | |
|------|-------------------------|---------------------------|
| 令和5年 | 12月22日(金)、25日(月)、26日(火) | 入学願書等の提出期間 22日は郵送による提出 |
| 令和6年 | 1月13日(土) | 第一次選考(作文) |
| | 1月18日(木) | 第一次選考結果通知書の交付 |
| | 1月20日(土) | 第二次選考(面接) |
| | 1月25日(木) | 第二次選考結果通知書の交付 |
| | 2月5日(月)、2月6日(火) | 入学手続に関する確認書の提出期間 |

東京都 都立高校入試 男女別定員枠撤廃へ

9月11日に開催された、公私連絡協議会で東京都教育庁は、令和6年度の都立高校入試から男女別定員制を廃止し、合同選抜とすることに合意を求めた。

男女別定員制については、有識者を集めた令和3年度の入学者選抜協議会で「段階的に移行しその後撤廃する」という方針が教育委員長あてに答申され、4年度では一般選抜の

10%の緩和、5年度では20%の緩和が実施されている。

今回の廃止は、推薦、一般選抜の前面に及ぶもので、3年度入試から比較すると、約600人の男子合格者が減るとされていた。

20%の実施により、男女の合格者の差は、ほぼ解消されていると思われるが、今回の実施により、完全な男女合同選抜になる。

閑話休題

埼玉の私学で中高一貫教育実施校は31校、令和6年度入試では、1校減で1校増、私立の募集人員は、総計で約4,000人となります。5年度入試での私学の充足は、85%で、定員を充足したのは、11校となっていました。県内の学校基本調査には、小学校卒業生の進路調査はありません(少なくとも公表はされていません)。弊社では、全体像を捉えるために、公立小学校6年生の在籍と、翌年の中学1年生の在籍の差を調べています。いわゆる転出率調査ですが、転出先が、国立か、私立かについては類推するしかありません。

最近10年間の転出率では、平成19年3月の17.5%、およそ5,200人をピークとして、その後少しずつ減少しています。一方、今春の県外からの私立中学校への入学数は、約1,300人と推計されます。

県内から県内が約1,800人、調査での公立小学校からの転出数が約3,848人、伊奈学園が80人ですので、1970人あまりが県外中学校への進学者と思われる。

令和6年度の中学入試(市場)では、グローバル、アクティブラーニング、ICT教育、探求をどう受け止め、実践していくかという学校方針と、そのための入試の試行が話題になっています。現高校2年生が、第2段階目の大学入試改革(2025年度入試)の当事者になります。また、中学校2年生が第3段階目の改革当事者になります。高等学校の学習指導要領の完成期移の生徒の大学入試改革が、第二段階に進み、小学校5年生からの学習指導要領改訂期の生徒が第三段階となるという意味ですが、情報科や検定の裁量問題や、定員厳格化に対する大学サイドの個別政策、等など、見えない壁が立ちはだかっています。

第1 進路状況の概況

○高等学校卒業者の進路概況（全日制・定時制）

| 区 分 | 令和5年3月 | | 令和4年3月 | | 対前年度増減 | | |
|-------------------------|--------------|---------|----------|---------|----------|--------|--------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | |
| 県内高等学校卒業生総数 | 52,446 人 | 100.0 % | 54,053 人 | 100.0 % | △1,607 人 | — | |
| 大学等進学者 | 33,885 人 | 64.6 % | 34,244 人 | 63.4 % | △359 人 | 1.2P | |
| 大学(学部) | 32,155 人 | 61.3 % | 32,130 人 | 59.4 % | 25 人 | 1.9P | |
| 短期大学(本科) | 1,608 人 | 3.1 % | 1,964 人 | 3.6 % | △356 人 | △ 0.5P | |
| その他(通信・別科等) | 122 人 | 0.2 % | 150 人 | 0.3 % | △28 人 | △ 0.1P | |
| 専修学校等進学・入学者 | 10,440 人 | 19.9 % | 11,418 人 | 21.1 % | △978 人 | △ 1.2P | |
| 専修学校専門課程 | 8,904 人 | 17.0 % | 9,705 人 | 18.0 % | △801 人 | △ 1.0P | |
| 専修学校一般課程 | 1,281 人 | 2.4 % | 1,435 人 | 2.7 % | △154 人 | △ 0.3P | |
| 各種学校 | 86 人 | 0.2 % | 85 人 | 0.2 % | 1 人 | 0.0P | |
| 公共職業能力開発施設等 | 169 人 | 0.3 % | 193 人 | 0.4 % | △24 人 | △ 0.1P | |
| 就職者等(就職等のみ) | 5,693 人 | 10.9 % | 6,083 人 | 11.3 % | △390 人 | △ 0.4P | |
| 自営業主等 | 128 人 | 0.2 % | 101 人 | 0.2 % | 27 人 | 0.0P | |
| 無期雇用労働者 | 5,301 人 | 10.1 % | 5,716 人 | 10.6 % | △415 人 | △ 0.5P | |
| 有期雇用労働者 | 128 人 | 0.2 % | 134 人 | 0.2 % | △6 人 | 0.0P | |
| うち雇用期間1年以上 かつフルタイム相当 | 69 人 | 0.1 % | 53 人 | 0.1 % | 16 人 | 0.0P | |
| 臨時労働者 | 136 人 | 0.3 % | 132 人 | 0.2 % | 4 人 | 0.1P | |
| その他の者 | 2,428 人 | 4.6 % | 2,307 人 | 4.3 % | 121 人 | 0.3P | |
| 家事手伝い | 126 人 | 0.2 % | 137 人 | 0.3 % | △11 人 | △ 0.1P | |
| 自宅浪人 | 1,310 人 | 2.5 % | 1,230 人 | 2.3 % | 80 人 | 0.2P | |
| 国内無認可校入学者 | 437 人 | 0.8 % | 353 人 | 0.7 % | 84 人 | 0.1P | |
| 海外進学者 | 91 人 | 0.2 % | 85 人 | 0.2 % | 6 人 | 0.0P | |
| 求職者 | 104 人 | 0.2 % | 146 人 | 0.3 % | △42 人 | △ 0.1P | |
| 進路未定者 | 360 人 | 0.7 % | 356 人 | 0.7 % | 4 人 | 0.0P | |
| 不詳・死亡 | 0 人 | 0.0 % | 1 人 | 0.0 % | △1 人 | 0.0P | |
| 再掲 | 進学準備中の者 | 2,903 人 | 5.5 % | 2,936 人 | 5.4 % | △33 人 | 0.1P |
| | 進学・入学かつ就職した者 | 9 人 | 0.0 % | 10 人 | 0.0 % | △1 人 | 0.0P |
| | 就職者総数 | 5,507 人 | 10.5 % | 5,880 人 | 10.9 % | △373 人 | △ 0.4P |

- ① 高等学校卒業生総数は 52,446 人で、前年度より 1,607 人減少しました。
- ② 大学等進学率は 64.6%で、前年度より 1.2 ポイント上昇し、調査開始以来最高値となりました。
- ③ 専修学校等進学・入学率は 19.9%で、前年度より 1.2 ポイント低下しました。
- ④ 卒業生数に占める就職者総数の割合は 10.5%で、前年度より 0.4 ポイント低下し、調査開始以来最低値となりました。

第2 高等学校卒業生数

高等学校卒業生総数は52,446人で、前年度より1,607人減少しました。

○高等学校卒業生数の状況

| 区 分 | 令和5年3月 | | 令和4年3月 | | 対前年度増減 | |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| | 人数 | 構成比(人数) | 人数 | 構成比(人数) | 人数 | 構成比 |
| 県内高等学校卒業生数 | 52,446人 | 100.0% | 54,053人 | 100.0% | △1,607人 | — |
| 全日制課程 | 51,516人 | 98.2% | 53,057人 | 98.2% | △1,541人 | 0.0P |
| 国立高校 | 154人 | 0.3% | 146人 | 0.3% | 8人 | 0.0P |
| 公立高校 | 34,449人 | 65.7% | 35,444人 | 65.6% | △995人 | 0.1P |
| 私立高校 | 16,913人 | 32.2% | 17,467人 | 32.3% | △554人 | △0.1P |
| 定時制課程(公立) | 930人 | 1.8% | 996人 | 1.8% | △66人 | 0.0P |

第3 全日制課程の進路状況

全日制課程の卒業生は51,516人で、前年度より1,541人減少しました。

大学等進学率は65.5%で、前年度より1.3ポイント上昇しました。

専修学校等進学・入学率は19.8%で、前年度より1.3ポイント低下しました。

卒業生数に占める就職者総数の割合は10.0%で、前年度より0.5ポイント低下しました。

○全日制課程卒業生の進路概況

| 区 分 | 令和5年3月 | | 令和4年3月 | | 対前年度増減 | |
|---------------------|---------|--------|---------|--------|---------|-------|
| | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 | 人数 | 構成比 |
| 全日制課程卒業生数 | 51,516人 | 100.0% | 53,057人 | 100.0% | △1,541人 | — |
| 大学等進学者 | 33,740人 | 65.5% | 34,062人 | 64.2% | △322人 | 1.3P |
| 大学(学部) | 32,038人 | 62.2% | 31,988人 | 60.3% | 50人 | 1.9P |
| 短期大学(本科)等 | 1,702人 | 3.3% | 2,074人 | 3.9% | △372人 | △0.6P |
| 専修学校等進学・入学者 | 10,186人 | 19.8% | 11,170人 | 21.1% | △984人 | △1.3P |
| 専修学校専門課程 | 8,674人 | 16.8% | 9,484人 | 17.9% | △810人 | △1.1P |
| 専修学校一般課程等 | 1,512人 | 2.9% | 1,686人 | 3.2% | △174人 | △0.3P |
| 就職者等(就職等のみ) | 5,295人 | 10.3% | 5,682人 | 10.7% | △387人 | △0.4P |
| 自営業主等 | 121人 | 0.2% | 90人 | 0.2% | 31人 | 0.0P |
| 無期雇用労働者 | 4,972人 | 9.7% | 5,395人 | 10.2% | △423人 | △0.5P |
| 有期雇用労働者 | 105人 | 0.2% | 99人 | 0.2% | 6人 | 0.0P |
| うち雇用期間1年以上かつフルタイム相当 | 69人 | 0.1% | 50人 | 0.1% | 19人 | 0.0P |
| 臨時労働者 | 97人 | 0.2% | 98人 | 0.2% | △1人 | 0.0P |
| その他の者 | 2,295人 | 4.5% | 2,142人 | 4.0% | 153人 | 0.5P |
| 不詳・死亡 | 0人 | 0.0% | 1人 | 0.0% | △1人 | 0.0P |
| 再掲 | | | | | | |
| 進学準備中の者 | 2,877人 | 5.6% | 2,898人 | 5.5% | △21人 | 0.1P |
| 進学・入学かつ就職した者 | 8人 | 0.0% | 10人 | 0.0% | △2人 | 0.0P |
| 就職者総数 | 5,170人 | 10.0% | 5,545人 | 10.5% | △375人 | △0.5P |

埼玉県 令和5年度入試に於ける転出率

| 令和5年度 転出率 | | | | | | | | | |
|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|----------|
| 区 分 | 学校数 | | | | 前年度 | 前年度 | 小学校転出者数 | 転出率 | 中学3年在籍増減 |
| | | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 6学年 | 3学年 | | | |
| 県計 | 412 | 57,715 | 58,412 | 58,751 | 61,563 | 59,350 | 3,848 | 6.25 | 599 |
| 県立 | 1 | 80 | 80 | 80 | | 79 | -80 | | |
| 和光市 | 3 | 637 | 645 | 566 | 716 | 627 | 79 | 11.03 | 61 |
| 志木市 | 4 | 612 | 602 | 593 | 681 | 561 | 69 | 10.13 | -32 |
| 川口市 | 27 | 4,545 | 4,666 | 4,590 | 5,044 | 4,540 | 499 | 9.89 | -50 |
| 日高市 | 5 | 427 | 446 | 489 | 473 | 533 | 46 | 9.73 | 44 |
| さいたま市 | 58 | 10,563 | 10,666 | 10,517 | 11,649 | 10,538 | 1,086 | 9.32 | 21 |
| 戸田市 | 6 | 1,287 | 1,247 | 1,203 | 1,411 | 1,193 | 124 | 8.79 | -10 |
| 蕨市 | 3 | 472 | 478 | 461 | 514 | 448 | 42 | 8.17 | -13 |
| 所沢市 | 15 | 2,501 | 2,534 | 2,604 | 2,722 | 2,607 | 221 | 8.12 | 3 |
| 新座市 | 6 | 1,396 | 1,408 | 1,372 | 1,516 | 1,416 | 120 | 7.92 | 44 |
| 三郷市 | 8 | 1,096 | 1,084 | 1,161 | 1,184 | 1,081 | 88 | 7.43 | -80 |
| 越谷市 | 15 | 2,804 | 2,860 | 2,860 | 3,006 | 2,980 | 202 | 6.72 | 120 |
| 富士見市 | 6 | 900 | 883 | 866 | 963 | 860 | 63 | 6.54 | -6 |
| 八潮市 | 5 | 701 | 671 | 744 | 750 | 679 | 49 | 6.53 | -65 |
| 朝霞市 | 5 | 1,147 | 1,102 | 1,125 | 1,227 | 1,153 | 80 | 6.52 | 28 |
| 草加市 | 11 | 1,869 | 1,946 | 1,963 | 1,991 | 2,052 | 122 | 6.13 | 89 |
| 入間市 | 11 | 1,156 | 1,102 | 1,233 | 1,230 | 1,236 | 74 | 6.02 | 3 |
| 飯能市 | 7 | 606 | 591 | 531 | 644 | 569 | 38 | 5.90 | 38 |
| 熊谷市 | 17 | 1,503 | 1,518 | 1,553 | 1,583 | 1,643 | 80 | 5.05 | 90 |
| 杉戸町 | 3 | 322 | 379 | 379 | 339 | 340 | 17 | 5.01 | -39 |

| | | | | | | | | | |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|-----|
| 幸手市 | 3 | 398 | 402 | 379 | 419 | 364 | 21 | 5.01 | -15 |
| 本庄市 | 4 | 632 | 580 | 655 | 665 | 580 | 33 | 4.96 | -75 |
| 上尾市 | 11 | 1,769 | 1,824 | 1,865 | 1,861 | 1,974 | 92 | 4.94 | 109 |
| 坂戸市 | 7 | 826 | 845 | 923 | 867 | 885 | 41 | 4.73 | -38 |
| ふじみ野市 | 6 | 972 | 1,002 | 916 | 1,019 | 955 | 47 | 4.61 | 39 |
| 川越市 | 22 | 2,957 | 2,946 | 2,896 | 3,095 | 2,885 | 138 | 4.46 | -11 |
| 行田市 | 8 | 561 | 573 | 637 | 587 | 635 | 26 | 4.43 | -2 |
| 上里町 | 2 | 261 | 269 | 288 | 273 | 275 | 12 | 4.40 | -13 |
| 伊奈町 | 3 | 415 | 534 | 462 | 434 | 498 | 19 | 4.38 | 36 |
| 秩父市 | 8 | 442 | 491 | 500 | 462 | 490 | 20 | 4.33 | -10 |
| 吉川市 | 4 | 689 | 706 | 761 | 720 | 719 | 31 | 4.31 | -42 |
| 越生町 | 1 | 68 | 71 | 71 | 71 | 73 | 3 | 4.23 | 2 |
| 嵐山町 | 2 | 114 | 126 | 120 | 119 | 109 | 5 | 4.20 | -11 |
| 川島町 | 2 | 137 | 139 | 143 | 143 | 159 | 6 | 4.20 | 16 |
| 久喜市 | 10 | 1,132 | 1,160 | 1,188 | 1,180 | 1,206 | 48 | 4.07 | 18 |
| 寄居町 | 3 | 234 | 204 | 248 | 243 | 220 | 9 | 3.70 | -28 |
| 吉見町 | 1 | 107 | 114 | 117 | 111 | 128 | 4 | 3.60 | 11 |
| 鴻巣市 | 8 | 916 | 883 | 954 | 949 | 984 | 33 | 3.48 | 30 |
| 白岡市 | 4 | 400 | 424 | 430 | 414 | 396 | 14 | 3.38 | -34 |
| 宮代町 | 3 | 238 | 239 | 208 | 246 | 242 | 8 | 3.25 | 34 |
| 鶴ヶ島市 | 5 | 532 | 544 | 556 | 548 | 600 | 16 | 2.92 | 44 |
| 神川町 | 1 | 101 | 103 | 107 | 104 | 101 | 3 | 2.88 | -6 |
| ときがわ町 | 2 | 70 | 66 | 78 | 72 | 66 | 2 | 2.78 | -12 |
| 小川町 | 3 | 179 | 190 | 170 | 184 | 188 | 5 | 2.72 | 18 |
| 蓮田市 | 5 | 442 | 469 | 507 | 454 | 515 | 12 | 2.64 | 8 |
| 深谷市 | 10 | 1,119 | 1,217 | 1,181 | 1,149 | 1,270 | 30 | 2.61 | 89 |

| | | | | | | | | | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------|-----|
| 桶川市 | 4 | 563 | 591 | 557 | 578 | 612 | 15 | 2.60 | 55 |
| 加須市 | 8 | 955 | 900 | 935 | 980 | 967 | 25 | 2.55 | 32 |
| 狭山市 | 8 | 1,124 | 1,059 | 1,110 | 1,152 | 1,113 | 28 | 2.43 | 3 |
| 三芳町 | 3 | 340 | 351 | 307 | 348 | 352 | 8 | 2.30 | 45 |
| 北本市 | 4 | 433 | 453 | 500 | 443 | 504 | 10 | 2.26 | 4 |
| 春日部市 | 11 | 1,777 | 1,729 | 1,791 | 1,817 | 1,841 | 40 | 2.20 | 50 |
| 東松山市 | 5 | 728 | 744 | 733 | 742 | 711 | 14 | 1.89 | -22 |
| 羽生市 | 3 | 412 | 411 | 431 | 418 | 425 | 6 | 1.44 | -6 |
| 松伏町 | 2 | 209 | 252 | 270 | 212 | 247 | 3 | 1.42 | -23 |
| 美里町 | 1 | 73 | 85 | 94 | 74 | 93 | 1 | 1.35 | -1 |
| 毛呂山町 | 2 | 214 | 249 | 207 | 216 | 239 | 2 | 0.93 | 32 |
| 滑川町 | 1 | 189 | 206 | 193 | 190 | 184 | 1 | 0.53 | -9 |
| 東秩父村 | 1 | 19 | 11 | 9 | 19 | 19 | - | 0.00 | 10 |
| 横瀬町 | 1 | 63 | 56 | 71 | 63 | 79 | - | 0.00 | 8 |
| 長瀨町 | 1 | 49 | 52 | 42 | 49 | 47 | - | 0.00 | 5 |
| 小鹿野町 | 1 | 87 | 86 | 105 | 87 | 106 | - | 0.00 | 1 |
| 皆野町 | 1 | 73 | 86 | 71 | 72 | 83 | -1 | -1.39 | 12 |
| 鳩山町 | 1 | 72 | 62 | 75 | 71 | 76 | -1 | -1.41 | 1 |

令和6年度高等学校就学計画

| 区 分 | | 年 度 | | 増△減 |
|---------------------------------|-------------------------|----------|----------|---------|
| | | 令和6年度 | 令和5年度 | |
| 都 内 公 立 中 学 校 | 卒業予定者 A | 78,025 人 | 77,687 人 | 338 人 |
| | 計画進学率 B | 93.0 % | 94.0 % | ▲ 1.0 % |
| | 進学者 C (A×B) | 72,600 人 | 73,100 人 | ▲ 500 人 |
| 国立・他県高校 ・高等専門学校 への進学者 D | | 3,800 人 | 3,800 人 | 0 人 |
| 都内公私立高校 受入分 (C-D) E | | 68,800 人 | 69,300 人 | ▲ 500 人 |
| 内 訳 | 都内私立高校 受入分 (40.4%) F | 27,800 人 | 28,000 人 | ▲ 200 人 |
| | 都立高校受入分 G (59.6%) | 41,000 人 | 41,300 人 | ▲ 300 人 |

※ 平成27年度以降、A欄に、都内公立中高一貫教育校在籍生徒を含めない。